

..... 編集後記

◆お盆とアテネ・オリンピックが重なり、いつになく暑く賑やかな夏休みだったような気がします。オリンピックでの日本選手団の大活躍に、日本中が観戦の夜更かしで睡眠不足状態。プロ野球再編の動きにみんなびっくり。そして今月も南方から大型台風が虎視眈々と日本をねらっています。

◆さて、本号は7月号に引き続き「北薩地域金鉱床調査の歴史と成果」と題する特集の続きとなりました。鹿児島大学・旧金属鉱業事業団・鉱山会社・産総研ほかの研究者や技術者など、この分野の先頭に立ってこられた方々多数にご執筆いただきました。特に本号には現場の鉱床探査屋さんに多く書いていただきました。あちらこちらに仲間内の言葉が混じり、このような鉱山現場を全くご存じない方には、ちょっとわかりにくい表現も見受けられますが、お許し下さい。

◆広域調査の思い出(浦島氏)・古い大正時代の絵図(森下氏)から最新のデータベースによる表示(両角氏)など興味深い口絵に始まり、広域調査を回想された浦島氏は軽妙な文体で、探査現場の様子を楽しく聞かせてくれています。当時の風景が何となく想像できてしまうのが不思議です。

◆岡田氏は菱刈鉱山の発見から現在までの経緯を、特に鉱山開発の観点から、吉川・中村氏は串木野鉱山の歴史や概要・思い出話を聞かせて下さいました。それぞれの鉱山の情報が必要などときには重要な資料となることでしょう。

◆佐藤氏は北薩における広域調査の基礎となった金

鉱床の地化学モデル構築の苦勞を紹介し、読者にも現場技術者の情熱がひしひしと伝わってきます。

◆村上氏は鉱床母岩に特徴的に含まれる元素の比率を使ったより簡便な地化学探査を提案、また菱田・武田氏は金鉱床探査へ適用された様々な物理探査とその結果を総括し、金鉱床探査にどのような物理探査が有効かの指針を示されました。これらの手法が環太平洋地域での探査で活用され成果があげられることを期待したいと思います。

◆森永氏は20年間にわたるNHK記者としての取材とテレビ放映、それにまつわる興味深い話題を紹介されました。テレビ画面を見ると、見たはずがないのに、「そういえばこんな放送を見たことがあったかも知れない」と思うのは私だけでしょうか？

◆7月号・9月号と2号にわたった特集号が完結しました。金量200トン以上という菱刈鉱床の発見は、日本の近代鉱業史上のもっとも輝かしい業績であり、本誌でも何度か紹介してきました。今回、北薩地域における探査活動の歴史と経緯・成果などの詳細が、森下氏をはじめとする多くの関係者の協力によりこのような特集号としてとりまとめられたことは大変喜ばしいことです。関係者の方々に御礼申し上げます。

残念なことに我が国の鉱業は衰退の一途をたどっていますが、いつの日にか北薩地域における探査活動の経験が引き継がれ、生かされ、第2、第3の菱刈鉱床が発見されるに違いないなんていう夢を持って本特集号を閉じることにします。(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：山本茂男

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3603

Fax. 029-861-3602

地質ニュース

第601号 2004年 9月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2004年9月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2004 Geological Survey of Japan
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。